

(令和7年12月1日)

『令和6年度における環境の状況並びに豊かな環境の保全及び創造に関して講じた施策に関する報告』正誤表

『令和6年度における環境の状況並びに豊かな環境の保全及び創造に関して講じた施策に関する報告』に以下の誤りがございました。謹んでお詫び申し上げます。

該当部	ページ等	該当項目（詳細）	誤	正
第2章 各分野において講じた施策 一括版	p. 22	I 脱炭素・省エネルギー社会の構築 ■1-10 ZEHの普及促進	【2024年度の取組指標】 ●ラベリング表示の実施品目 農産物等26品目 ●ラベリング表示店舗 50店舗	【2024年度の取組指標】 ●ZEHの多面的なメリットを伝えるセミナーやイベントの実施回数 4回 ●ZEHの宿泊体験・お試し体感合計人数 34組
	p. 38	II 資源循環型社会の構築 ■2-2 再生品普及促進事業	【2024年度の取組指標】 ●計8回イベントに出展し、認定製品の普及啓発・利用促進を図るとともに、3月に認定を実施 【参考】2024年度末認定製品数 361製品 (内、なにわエコ良品ネクストは156製品)	【2024年度の取組指標】 ●イベント出展回数 8回 ●認定回数 年1回(3月) 【参考】2024年度末認定製品数 361製品 (内、なにわエコ良品ネクストは156製品)
	p. 39	II 資源循環型社会の構築 ■2-5 食品ロス削減対策の推進	【内容】 流通の各段階の事業者及び消費者を構成員とするネットワーク懇話会等を設置し、意見交換や取組状況の進捗管理を行うとともに、計画の中間見直しに向け、食品ロス発生量の解析調査及び府民の意識調査を実施しました。 地域活動や学校への出前講座など多様な分野で活躍するボランティア「もったいないやん活動隊」を養成しました。また、市町村や事業者と連携して地域一体となった検討・実践の場の開催し、活動隊が主体となり取り組むモデル事例を創出しました。	現行版に、 以下内容を追記 。 【内容】 イベント会場において食べ残しによる環境影響の掲示、食べきりや使い切り等の会場内啓発など、食品ロス削減に向けた行動変容の啓発を実施しました。 「おおさか食品ロス削減パートナーシップ制度」の推進やパートナーシップ事業者交流会の開催、パートナーシップ事業者と連携した府イベント会場での啓発・フードドライブの実施など、積極的に食品ロス削減に取り組む事業者との連携を推進しました。

(令和7年12月1日)

第2章 各分野において講じた施策 一括版	p. 78	V 魅力と活力ある快適な地域づくりの推進 ■5-17 関西広域連合における広域的な環境保全対策の推進(広域環境保全)	【担当部署】 【企画室連携課 06-6941-9776】 【産業創造課 06-6210-9269】 【脱炭素・エネルギー政策課 06-6210-9549】 【循環型社会推進室 06-6210-9567】 【動物愛護畜産課 06-6210-9619】 【みどり企画課 06-6210-9557】 【水産課 06-6210-9612】 【流通対策室 06-6941-0351】	【担当部署】 【企画室連携課 06-6941-9776】 【産業創造課 06-6210-9269】 【脱炭素・エネルギー政策課 06-6210-9549】 【循環型社会推進室 06-6210-9567】 【動物愛護畜産課 06-6210-9619】 【みどり企画課 06-6210-9557】 【水産課 06-6210-9612】 【流通対策室 06-6941-0351】
第2章 各分野において講じた施策	p. 76	V 魅力と活力ある快適な地域づくりの推進 ■5-12 府道緑化事業	【内容】 倒木しにくい樹種への更新や樹木が健全に生育できる基盤づくりを行うことにより、地域に親しまれる緑陰づくり、安全安心で魅力的な街路樹空間を形成します。(略)	【内容】 倒木しにくい樹種への更新や樹木が健全に生育できる基盤づくりを行うことにより、地域に親しまれる緑陰づくり、安全安心で魅力的な街路樹空間を形成しました。(略)
第3章 2024(令和6)年度に講じた施策【点検・評価シート】	5-12 (105行目)			
一括版	p. 76 p. 88			
第3章 2024(令和6)年度に講じた施策【点検・評価シート】	1-15 (24行目)	I 脱炭素・省エネルギー社会の構築	【自己点検・評価・課題】 (略) また、本事業で構築した算定モデルを活用し、セミナーやワークショップを開催することで府内中小事業者等への水平展開を図ることができました。	【自己点検・評価・課題】 (略) また、本事業で構築した算定モデルを活用し、セミナーやワークショップを開催することで府内中小事業者等への水平展開を図ることができました。
一括版	p. 81 1-15	■1-15 サプライチェーン全体のCO2排出量見える化モデル事業		